

一般質問通告書

佐野市議会議長 様

受付	番号	15
	令和	6年 2月14日
	午前・午後	2時40分

議会名	令和6年 第2回 佐野市議会定例会		
発言者	議席番号 24番 高橋 功		
答弁を求める者 (選択してください)	市長 ・ 副市長 ・ 教育長 ・ 担当部局長		
一般質問時に使用する資料の有無 (選択してください)	あり (資料提示 ・ 資料配付 ・ モニター使用) なし		
大項目 (質問項目) 中項目 (質問細目)	小項目 (具体的な質問内容)		
1. 過疎地域対策と公共施設の存続について (1) 本市における過疎対策について (2) あきやま学寮他3施設の存続について	<p>①本市における辺地に該当する地域について伺う。 ②本市で辺地総合整備計画が策定されている地域と、その目的について伺う。 ③辺地総合整備計画によるこれまでの事業内容について伺う。</p> <p>①運営の休止に至った経緯について伺う。 ②辺地債が充当出来ない理由について伺う。 ③令和3年12月議会の一般質問で指摘した内容が改善できなかった理由について伺う。 ④現在雇用されている職員や関係者への説明と解雇について伺う。 ⑤地元説明会が開催されたようであるが、その内容について伺う。 ⑥今後の調査・検討はどのような体制で行うのか伺う。 ⑦令和7年度には再開するとの説明だったが、その可能性について伺う。</p>		
2. 佐野市鳥獣被害防止計画の新たな取組について			

<p>(1) シカの駆除対策について</p>	<p>①栃木県は、シカの農林業被害深刻化により新年度から捕獲目標を約1.4倍に増やすことに決定したが、本市での対応について伺う。</p> <p>②これまで「くくりわなの直径は12cm以下とする。」という規制を新たに県内5市町で解除したが、本市での現状について伺う。</p> <p>③現在、有害鳥獣の捕獲は猟友会に委託しているが、会員の減少や高齢化を鑑みれば、新たな狩猟免許取得者が猟友会へ加入する経費に対し、補助金交付制度が必要と思うが、考えを伺う。</p>
<p>(2) タカサゴキララマダニの被害抑止について</p>	<p>①本県にはほとんど生息しないとされた大型マダニ「タカサゴキララマダニ」の刺症被害が、昨年足利市など県南西部で過去最多のペースになっている。活動が活発化するこの時期を考慮しての対応について伺う。</p>
<p>(3) クマの「指定管理鳥獣」への追加と対策について</p>	<p>①伊藤環境大臣は、4月中にもクマを「指定管理鳥獣」に追加することを明らかにしたが、本市での考え方と対応について伺う。</p> <p>②市民の安全を守りながら、クマとの共生は重要と考えるが、本市での対策について伺う。</p> <p>③柿の木など、えさとなる樹木の伐採支援制度の創設について伺う。</p>
<p>3. 葛生義務教育学校開校による閉校した小中学校と、旧ときわ保育園の跡地活用の方向性について</p>	<p>①葛生義務教育学校開校による閉校した小中学校の現在の活用・利用状況と、今後学校施設等で活用するかどうかについて伺う。</p> <p>②旧ときわ保育園の現在の活用・利用状況と、今後保育施設等で活用するかどうかについて伺う。</p> <p>③葛生義務教育学校開校により閉校となったそれぞれの小中学校の活用方針について、具体的な考え方を伺う。</p> <p>④小さな拠点づくりの経過と今後の方向性について伺う。</p>